

教科目名 独語 I (German I)

学科名・学年 : 全学科 4年

単位数など : 必履修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間45時間)

担当教員 : 峯本敏男

授業の概要			
ドイツ語は現在、約1億1千万人の使用人口を持つ世界十大言語の一つであり、その特徴は元々、英語とは姉妹語であり、特に工学や学術の分野において英語に次いで重要な言語である点にある。このようなドイツ語を新たに学ぶ意味は大きく、この授業を通して外国語学習本来の楽しさや面白さを体感させると同時に、英語圏とは異なる文化や社会に触れさせながら、基礎ドイツ語の修得と共にこれからの技術者に必要な国際性と幅広い視野の養成をめざす。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(C1), JABEE目標(f)	
(1)ドイツ語が正確に発音できる。(定期試験と小テスト)			
(2)初級文法の基礎を修得し、簡単な発話ができる。(定期試験と演習)			
(3)独和辞典を使用して平易なドイツ語文を読解し理解できる。(定期試験と課題)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	1. ドイツ語概観	○ドイツ語がどんな言葉か概説できる。	【理解の度合い】
2	2. 発音 (アルファベット)	○アルファベットの文字が発音できる。	
3	3. 発音 (母音、複母音)	○母音と複母音の基本が発音ができる。	
4	4. 発音 (子音)	○子音の基本的発音を理解し練習する。	
5	5. 規則動詞の現在形の変化	○規則動詞の現在人称変化が理解できる。	
6	6. 規則動詞の現在形の用法	○動詞構文、基本文型と用法が理解できる。	
7	7. 定冠詞の用法	○定冠詞の変化と基本的用法を理解する。	
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	前期中間試験の解答と解説	○分からなかった部分を理解し、基本を再確認する。	【理解の度合い】
10	8. 不定冠詞の用法	○不定冠詞の変化と基本的用法を理解する。	【試験の点数】 点
11	9. 不規則動詞の用法	○不規則動詞の変化と用法を理解する。	
12	10. 所有冠詞の用法	○所有冠詞の変化と用法を修得する。	
13	11. 否定冠詞の用法	○否定冠詞の用法を学び理解できる。	
14	12. これまでの復習		
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
16	13. 名詞の複数形	○名詞の複数形の作り方と用法を理解する。	【理解の度合い】
17	14. 人称代名詞	○人称代名詞の変化と名詞との関係を理解する。	
18	15. 前置詞	○前置詞の格支配を学ぶ。	
19	16. 前置詞	○前置詞の意味と用法に習熟する。	
20	17. 形容詞	○形容詞の用法、格変化を理解する。	
21	18. 形容詞	○形容詞の付加語的用法に習熟する。	
22	これまでの復習		
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24	後期中間試験の解答と解説	○分からなかった部分を確認、再度、理解する。	【理解の度合い】
25	19. 話法の助動詞	○助動詞の変化と基本構文を学ぶ。	【試験の点数】 点
26	20. 話法の助動詞	○助動詞の意味と用法について習熟する。	
27	21. 動詞の三基本形	○不定形、過去基本形、過去分詞の三基本形について学ぶ。	
28	22. 現在完了形	○現在完了の基本構文を学ぶ。	
29	23. 現在完了形	○現在完了の意味と用法に習熟する。	
30	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	ドイツ語学習の一年目として、初級文法の理解と発音練習が最も重要であるため、先ず、授業に集中し、積極的に発話練習等に参加すること。また、日頃から復習を継続し、独和辞典を家庭や授業において活用することが肝要である。		【総合達成度】
教科書	未定 (選定中)		
参考図書			
関連科目	独語 II		
総合評価	達成目標の(1)~(3)について4回の試験と課題・小テストで評価する。 総合評価=0.8×(4回の定期試験の平均)+0.2×(課題・小テストの点数)― (欠席, 授業態度) 最終的に総合評価が60点以上を合格とする。		【総合評価】 点